

今冬のインフルエンザの発生動向

～医療従事者向け疫学情報～

Ver. 2 in 2011

厚生労働省
新型インフルエンザ対策推進本部
国立感染症研究所

2011.4. 1.

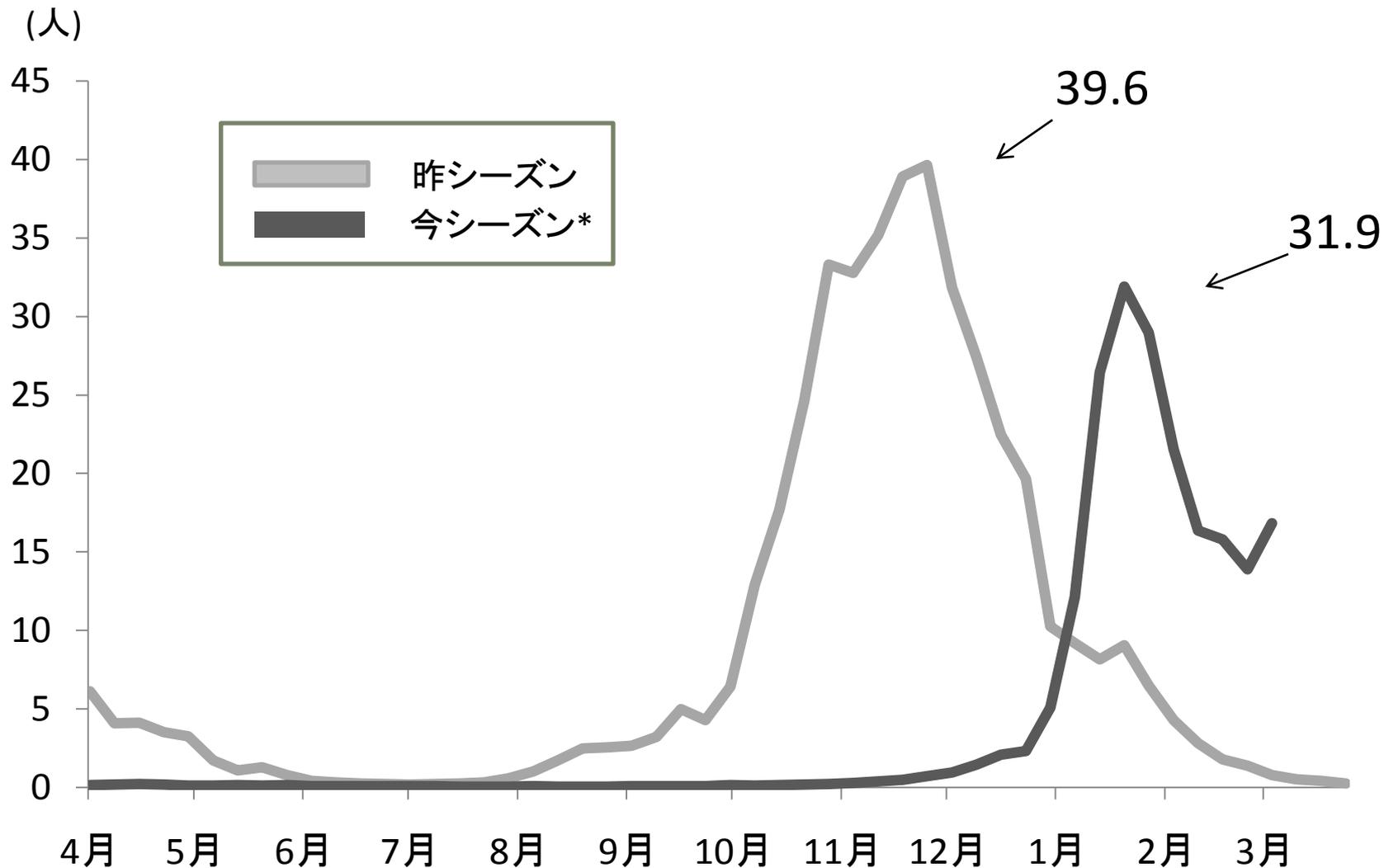


図1 定点当たり受診者数の推移

* 平成22年3月29日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

出典: 感染症発生動向調査²

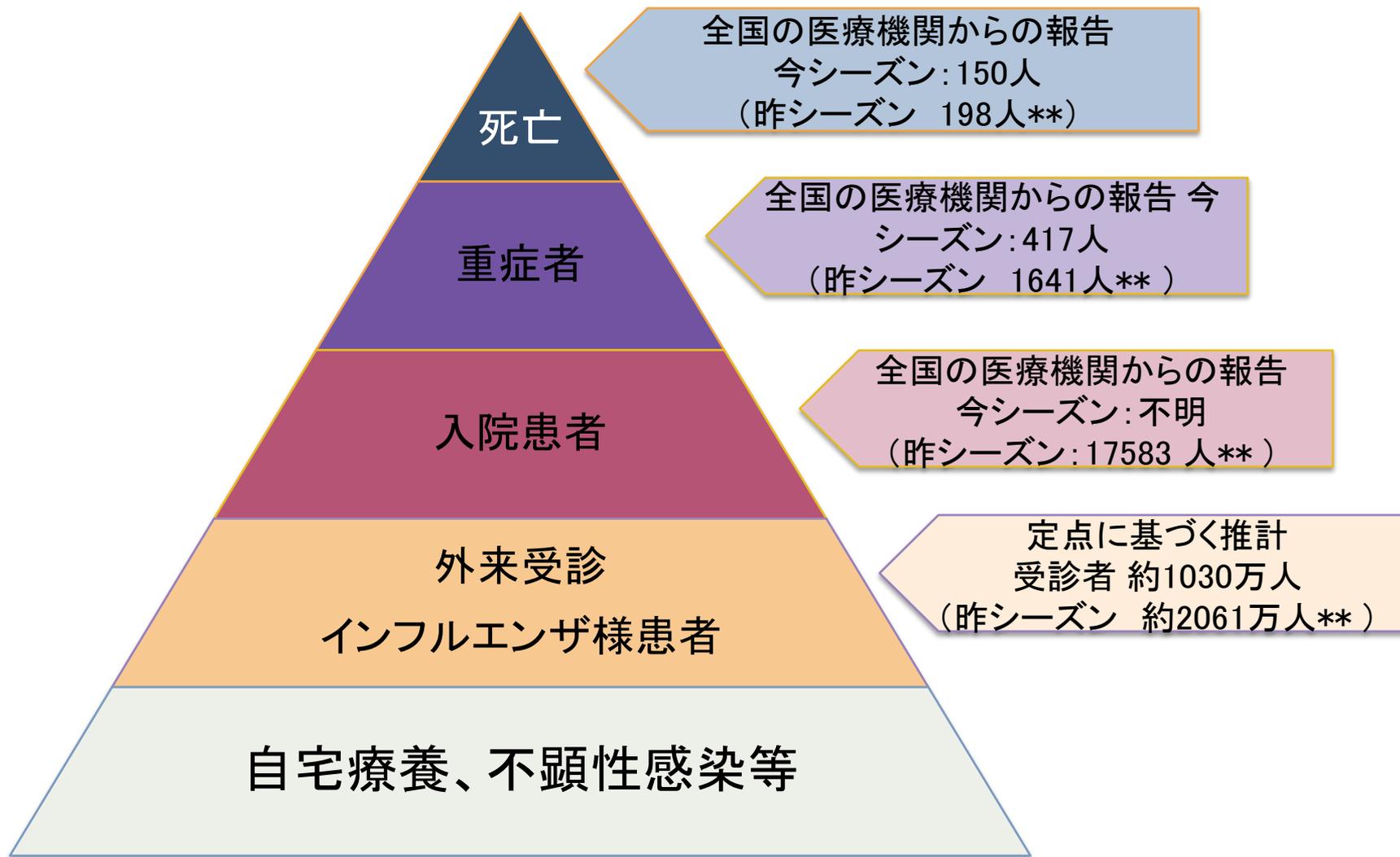


図2 今冬*のインフルエンザの重症度

*平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

** 出典: 新型インフルエンザの発生動向 Ver.3 / 厚生労働省³

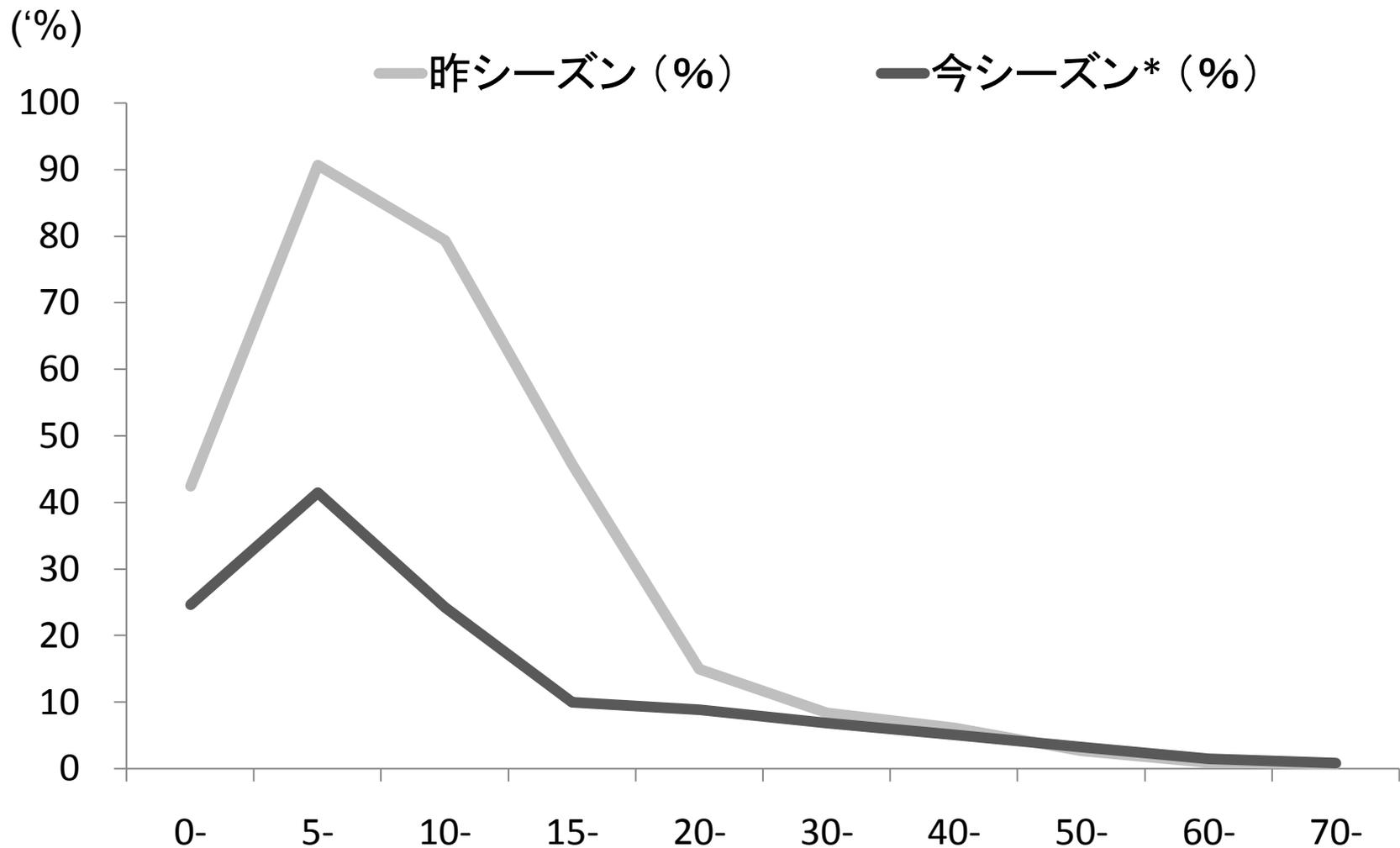


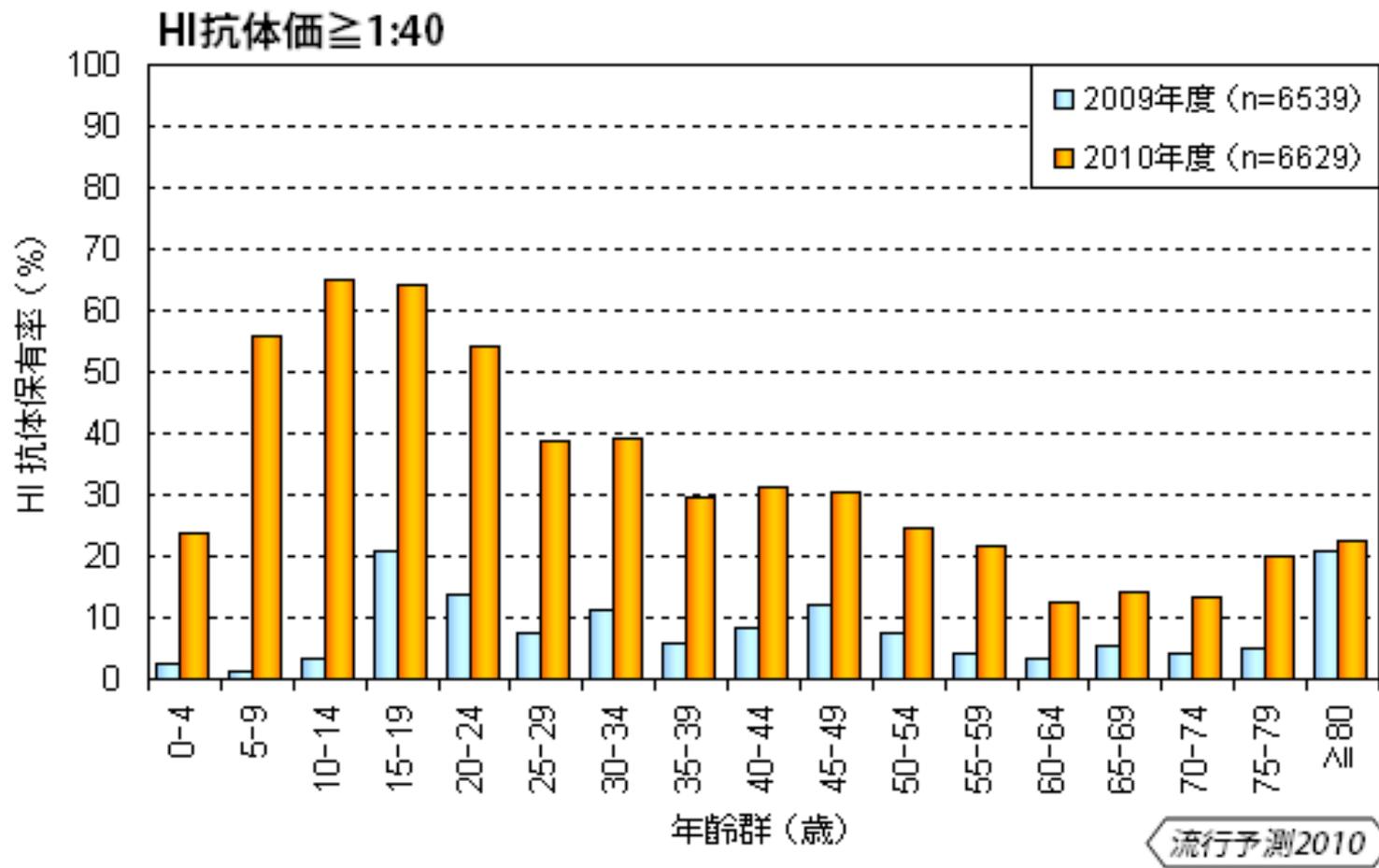
図3 年齢階級別受診割合

*-平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告に基づく / 厚生労働省

図4 インフルエンザA型に対する年齢群別HI抗体保有状況

[A/California/7/2009 pdm における2009年度と2010年度の結果比較]

(2010年12月16日現在)



出典: 国立感染症研究所

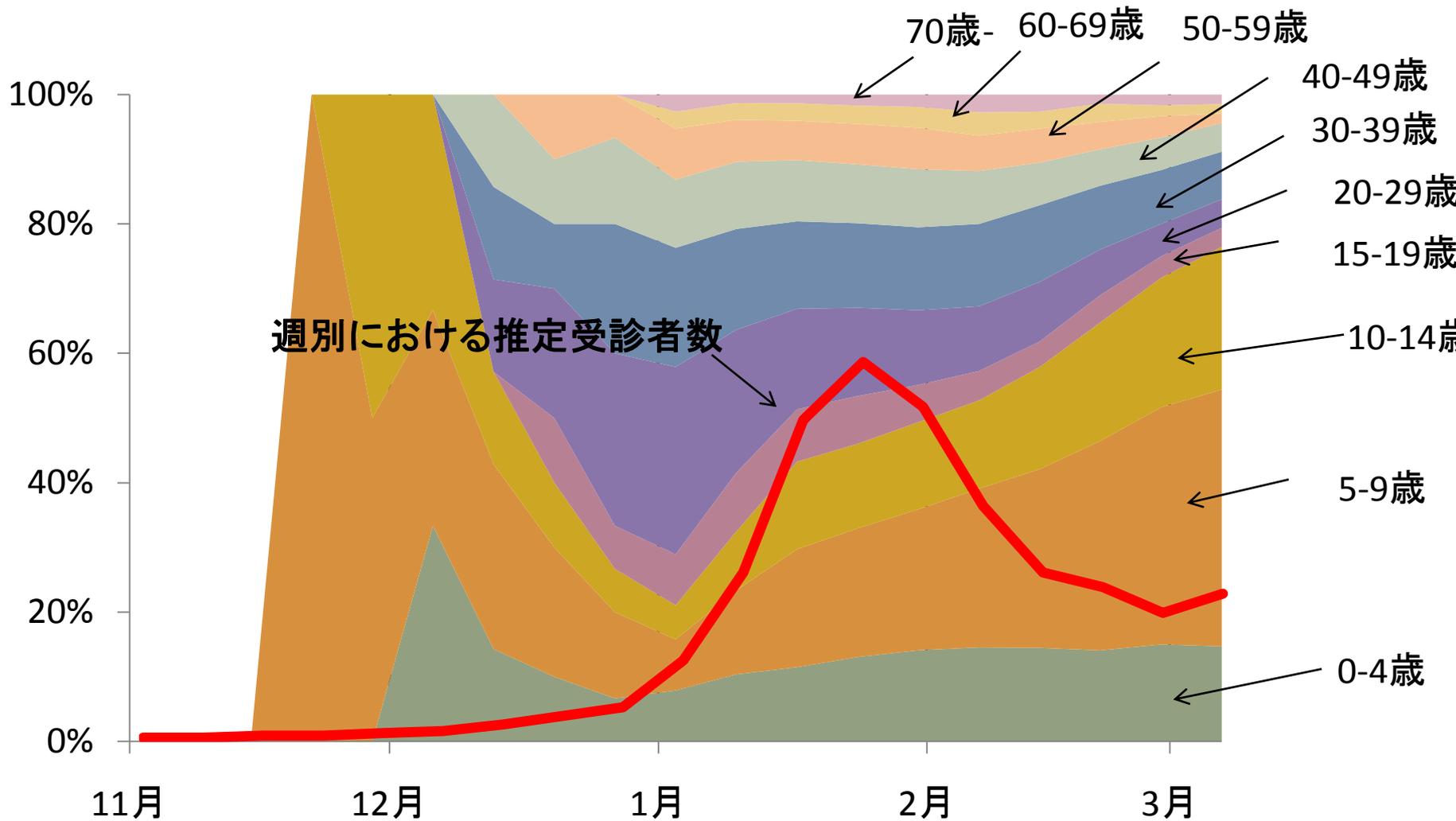


図5 今シーズンの推定受診者数の年齢階級別割合の推移

平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

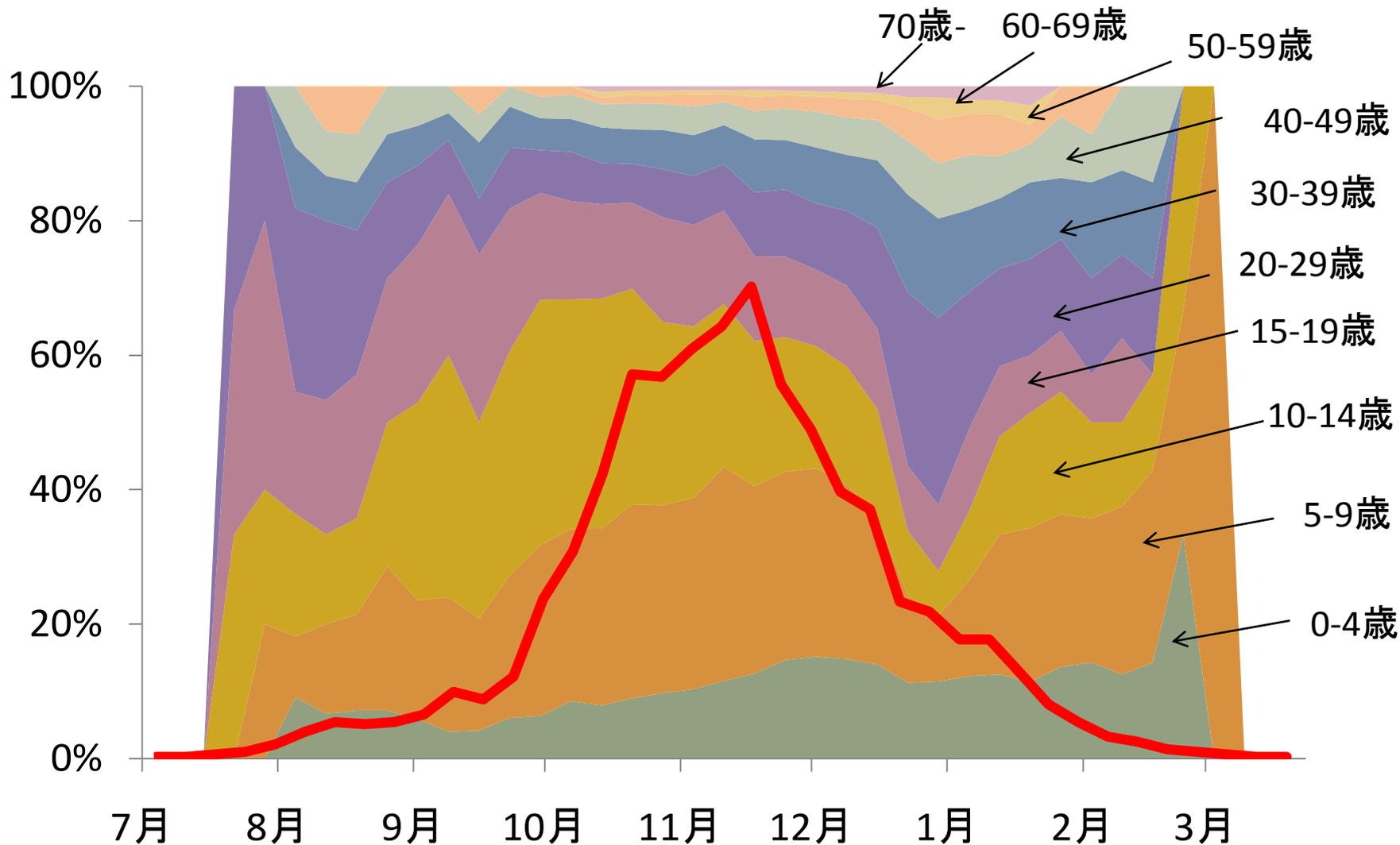
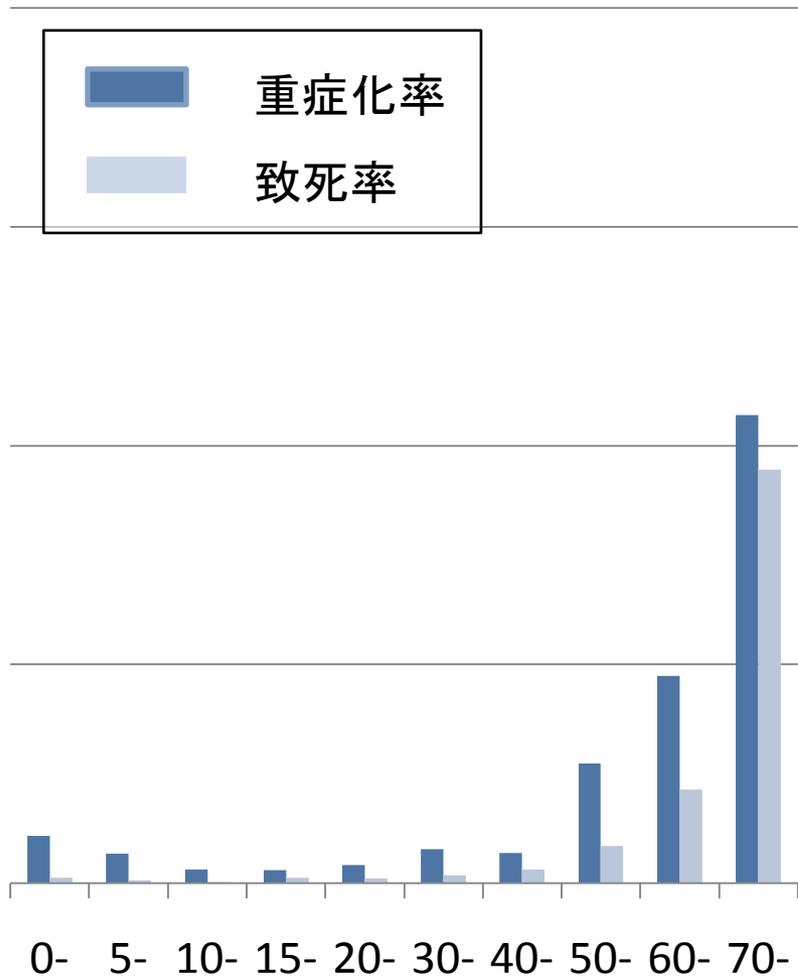


図6 昨シーズンの推定受診者数の年齢階級別割合の推移

平成21年7月6日から平成22年3月29日の報告まで / 厚生労働省

今シーズン*



(人)

昨シーズン

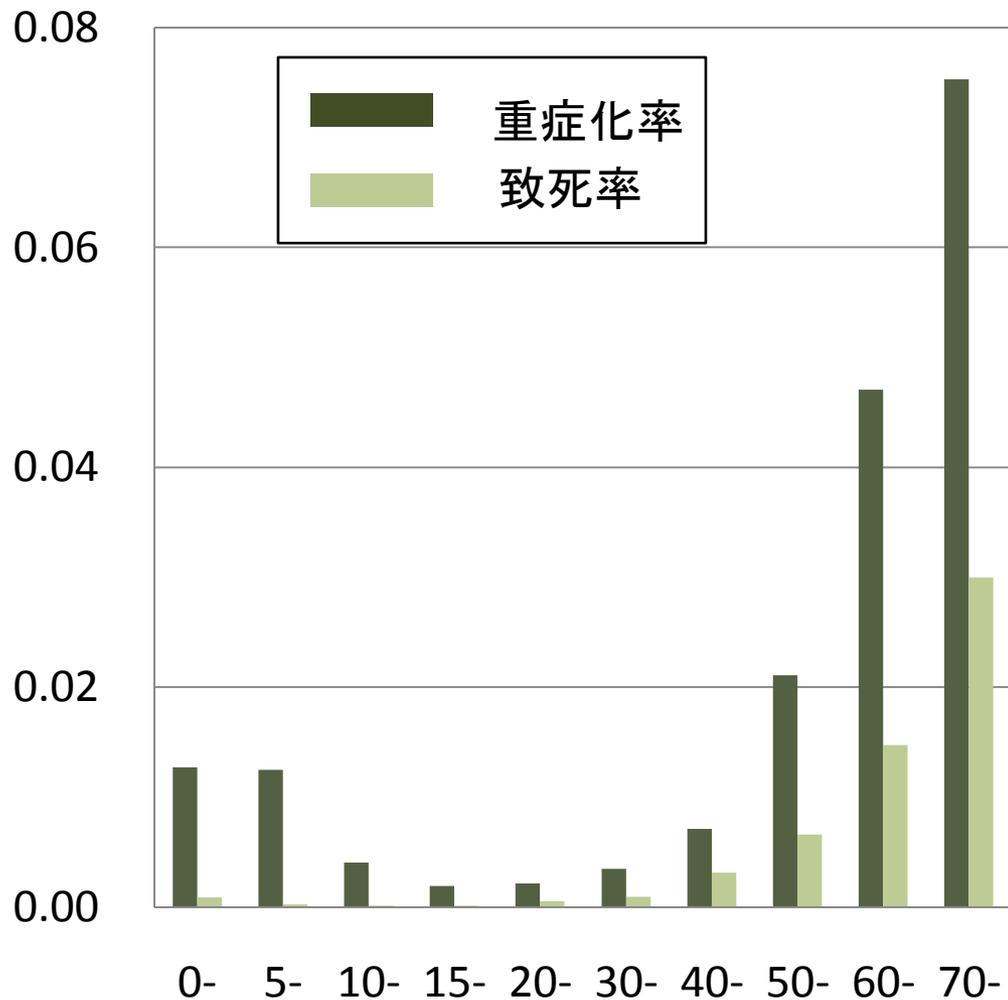


図7 年齢階級別重症化率及び致死率
(推定受診者100人当たり)

平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

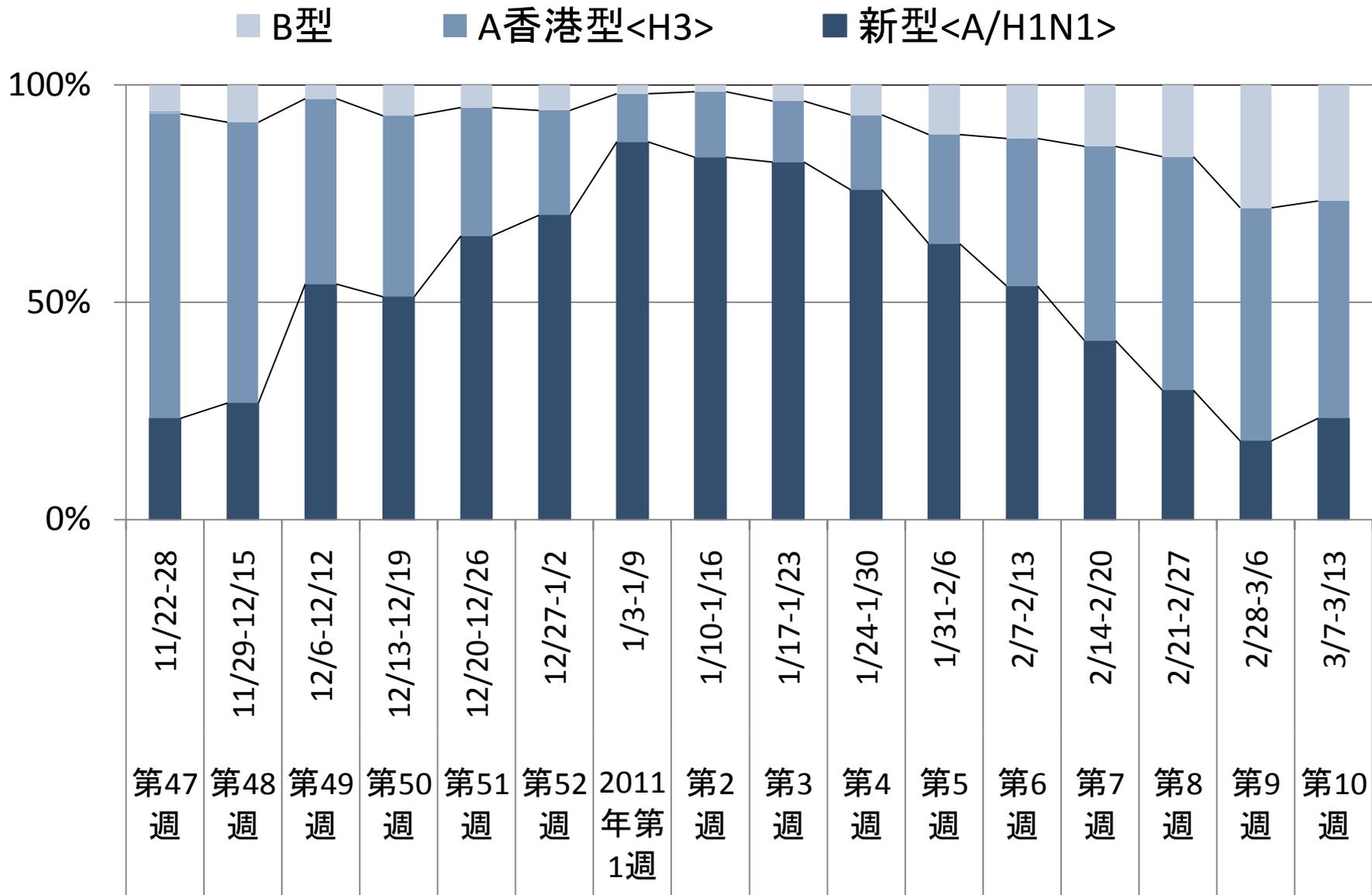


図8 今シーズンのインフルエンザの亜型の動向

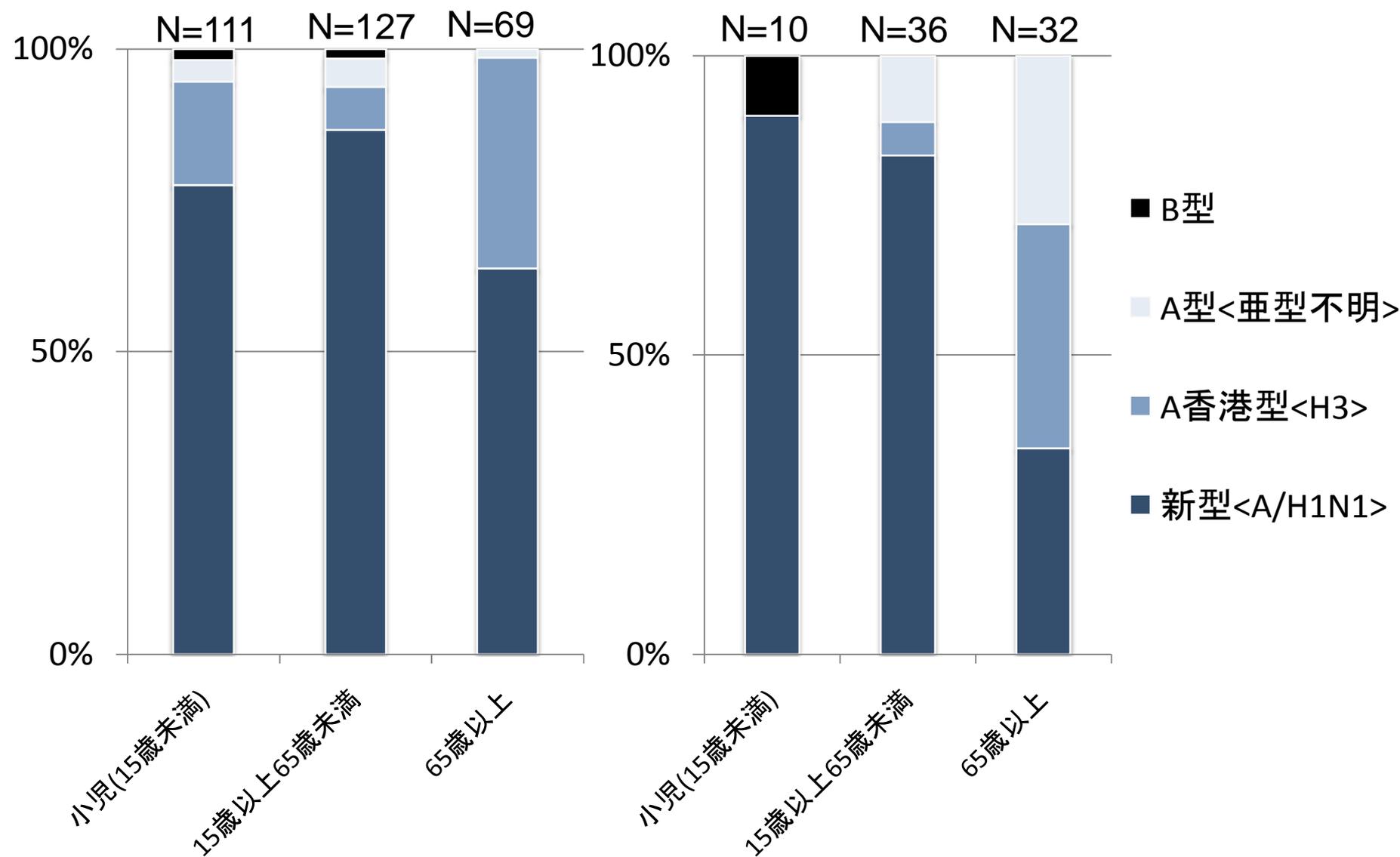


図9 重症患者における、PCR又は迅速検査で判明した亜型割合(年齢階級別)

図10 死亡例における、PCR又は迅速検査で判明した亜型割合(年齢階級別)

		今シーズン*	昨シーズン
報告数		417例	1642例
性別(男性:女性)		267例:156例	1056例:586例
年齢範囲		0歳-96歳 (中央値 37.0歳)	0-98歳 (中央値8.5歳)
平均年齢		39.5歳	20.4歳
重症患者に占める 各年齢階級の割合	0-14歳	33%(N=138)	69%(N=1129)
	15-64歳	42%(N=177)	22%(N=366)
	65歳-	24%(N=102)	9%(N=147)
年齢階級別 基礎疾患保有割合	0-14歳	36%(49/138)	35%(392/1129)
	15-64歳	69%(122/177)	66%(243/366)
	65歳-	88%(90/102)	88%(130/147)
	全年齢	63%(261/417)	47%(765/1642)

表1 重症患者の分析

*平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

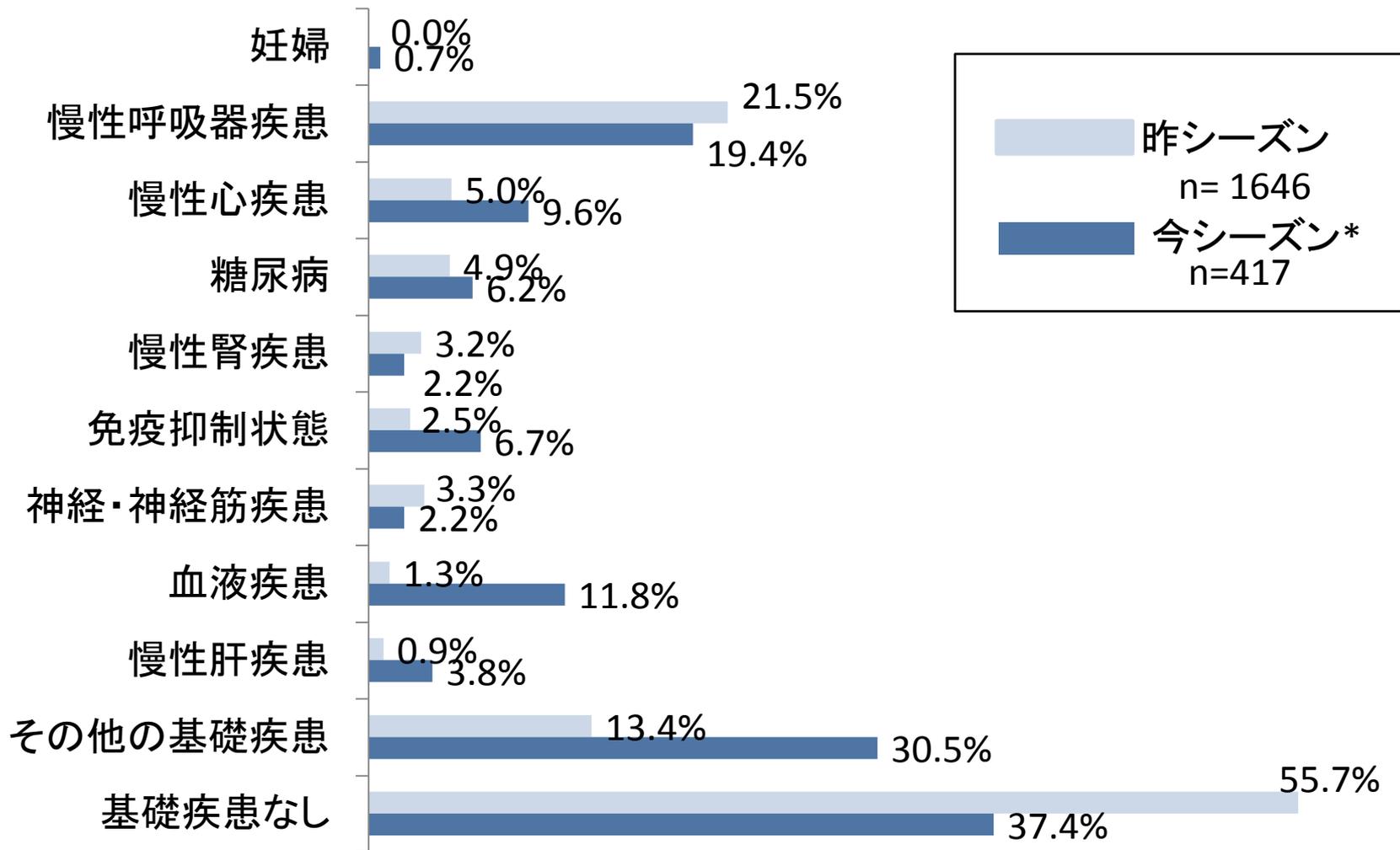


図11 重症患者における疾患群別の基礎疾患保有割合(重複あり)

*-平成22年9月6日から平成23年3月13日報告まで / 厚生労働省

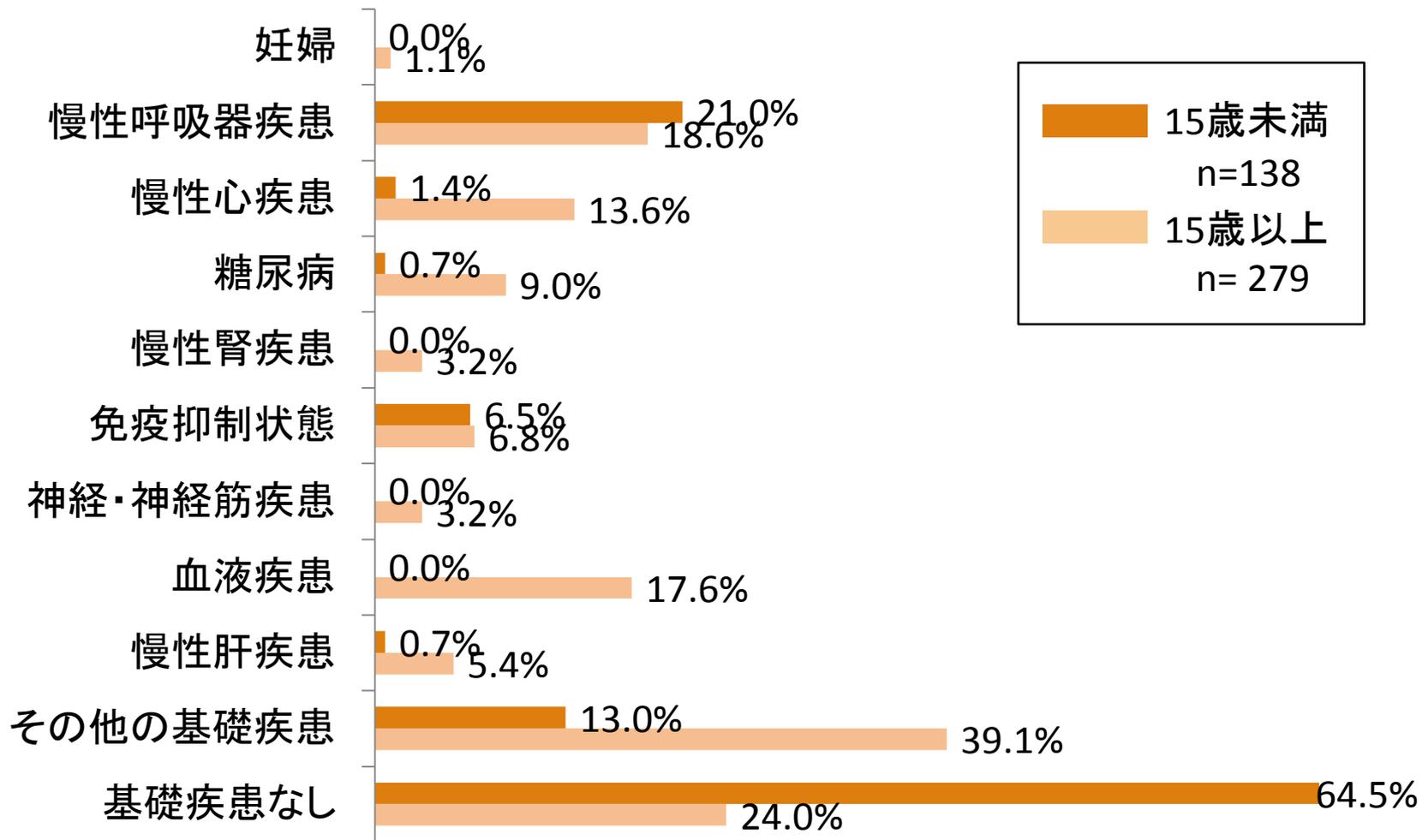


図12 今シーズン*の年齢階級別重症患者における疾患群別の基礎疾患保有割合(重複あり)

*-平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

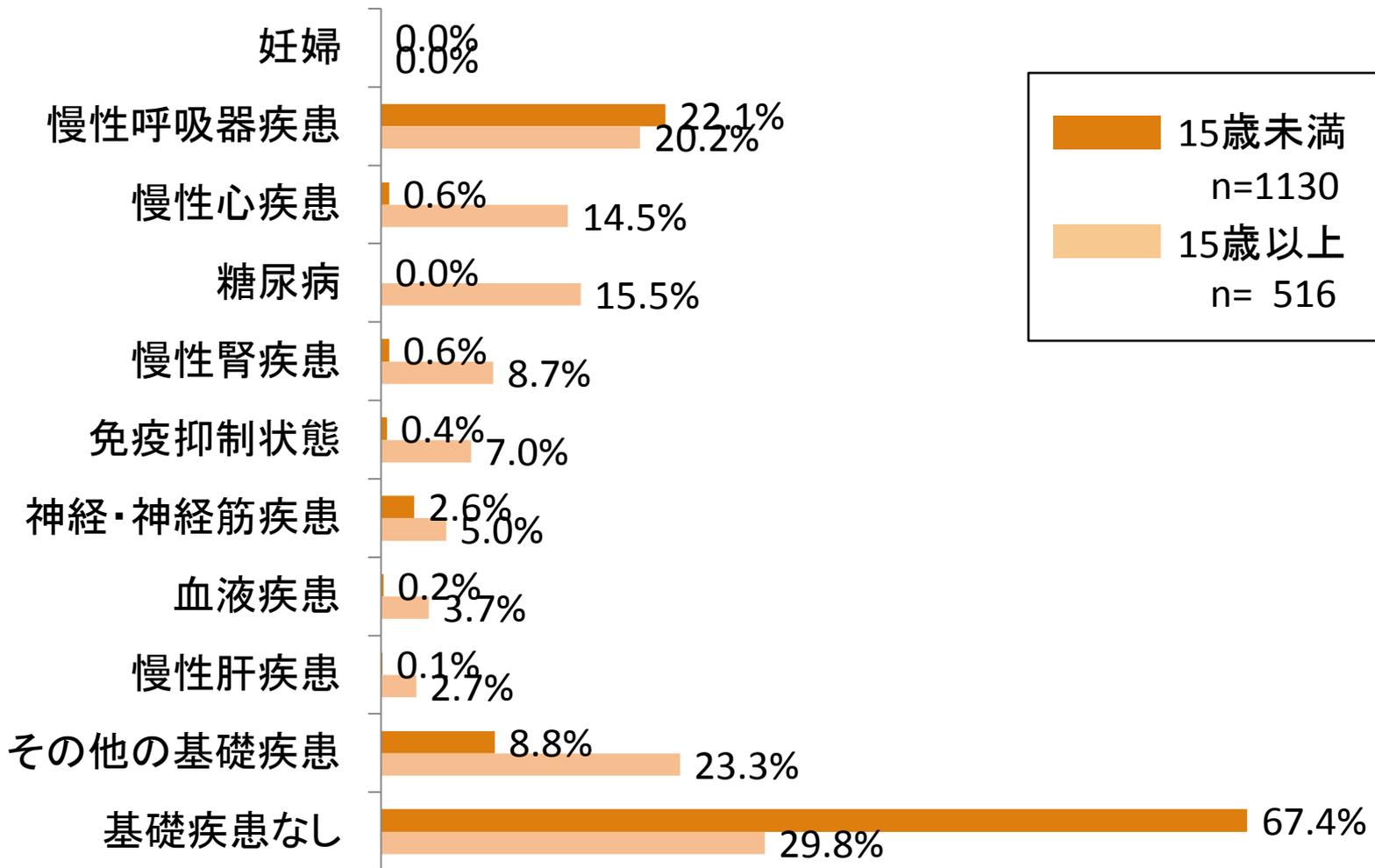


図13 昨シーズン*の年齢階級別重症患者における疾患群別の基礎疾患保有割合(重複あり)

*-平成22年3月23日の報告まで / 厚生労働省

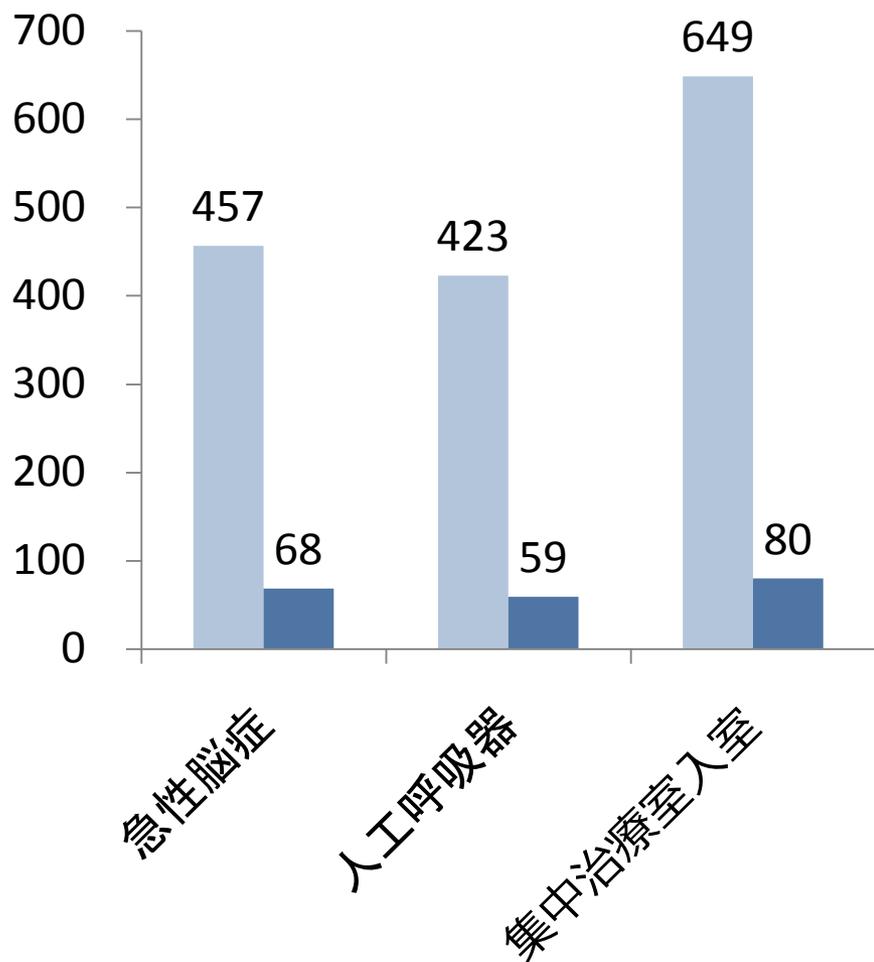


図14 重症患者の定義による分類
15歳未満 (重複あり)

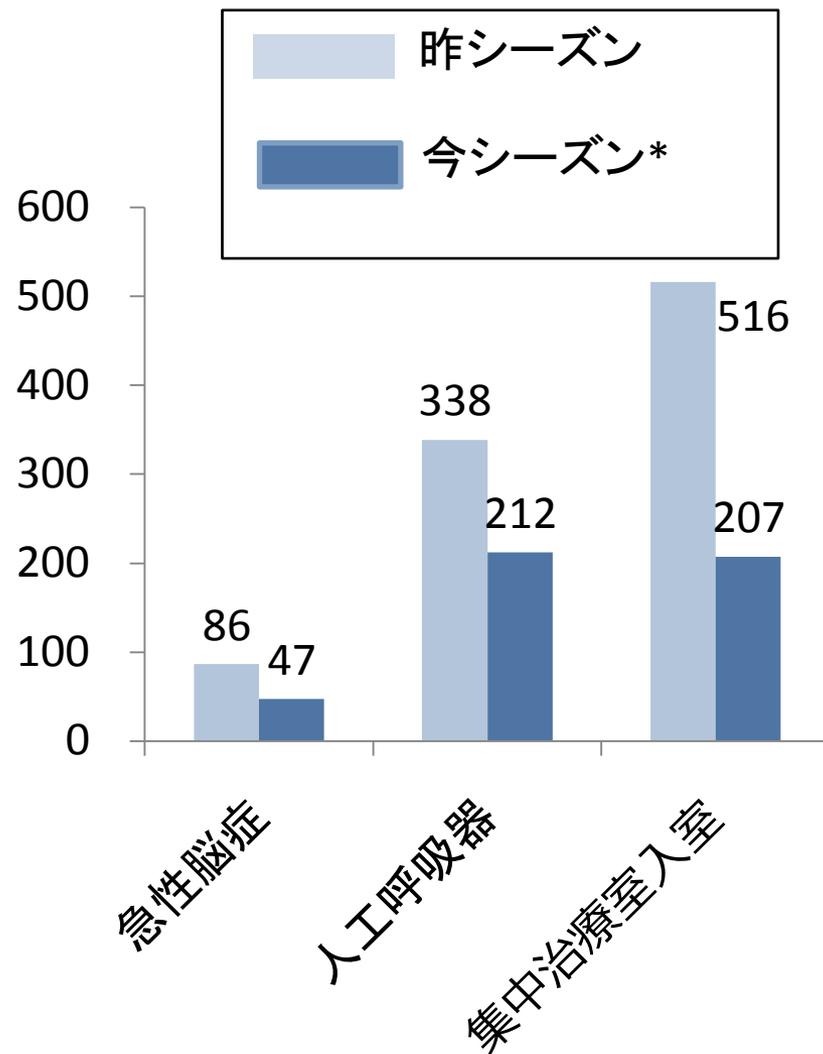


図15 重症患者の定義による分類
15歳以上(重複あり)

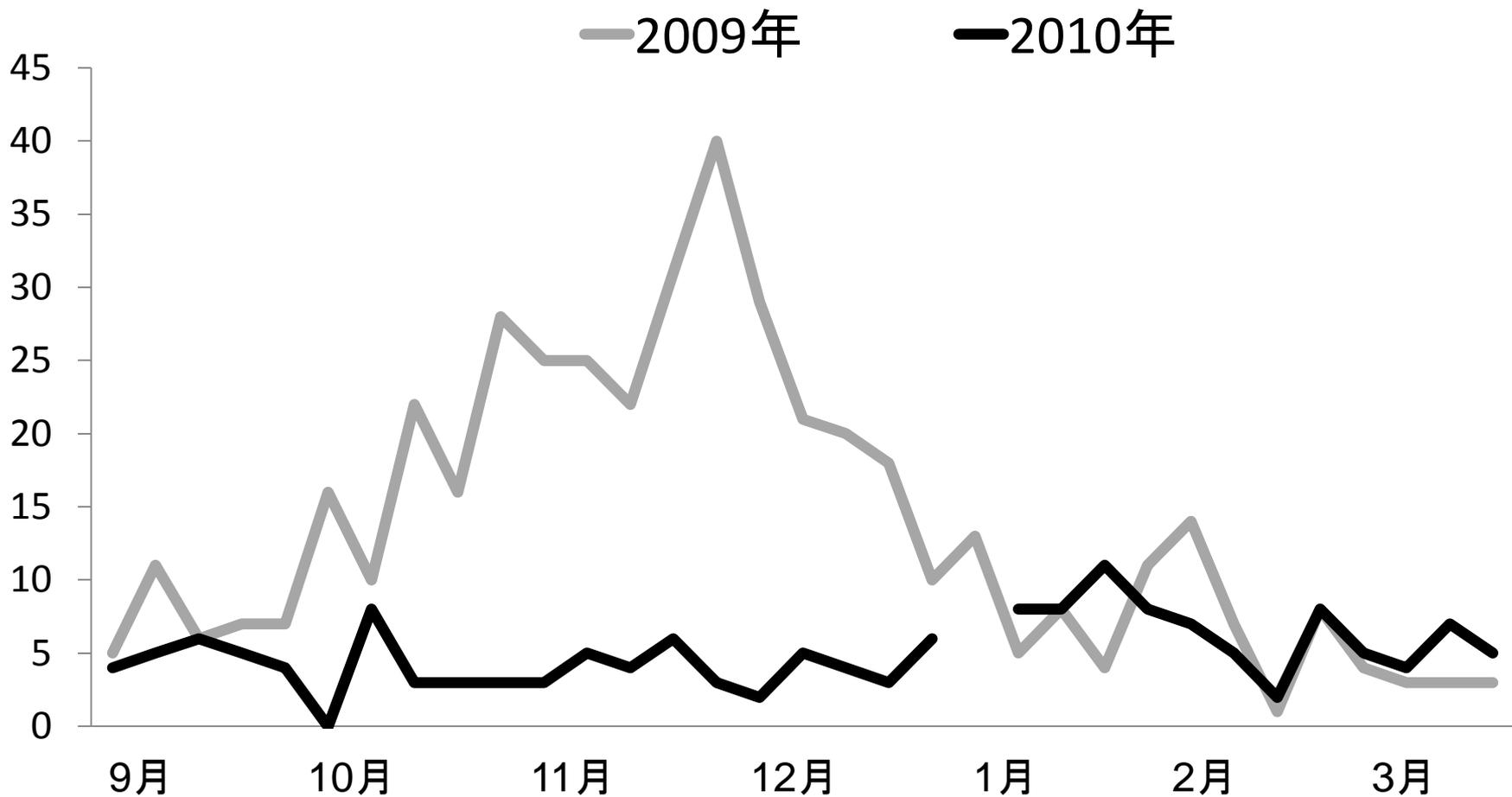


図16 急性脳炎*の発生動向

*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

出典：感染症発生動向調査¹⁶

		今シーズン*	昨シーズン
報告数		150例	198例
性別比(男性:女性)		87例:63例	127例:71例
年齢範囲		1歳-99歳 (中央値 67歳)	0-97歳 (中央値51歳)
平均年齢		61.2歳	48.1歳
死亡例に占める 各年齢階級の割合	0-14歳	9%(N=13)	19%(N=38)
	15-64歳	37%(N=56)	53%(N=104)
	65歳-	54%(N=81)	28%(N=56)
年齢階級別 基礎疾患保有割合	0-14歳	77% (10/13)	39%(15/38)
	15-64歳	63%(35/56)	71%(75/105)
	65歳-	98%(79/81)	95%(53/56)
	全年齢	83%(124/150)	72%(143/198)

表2 死亡例の分析

*平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

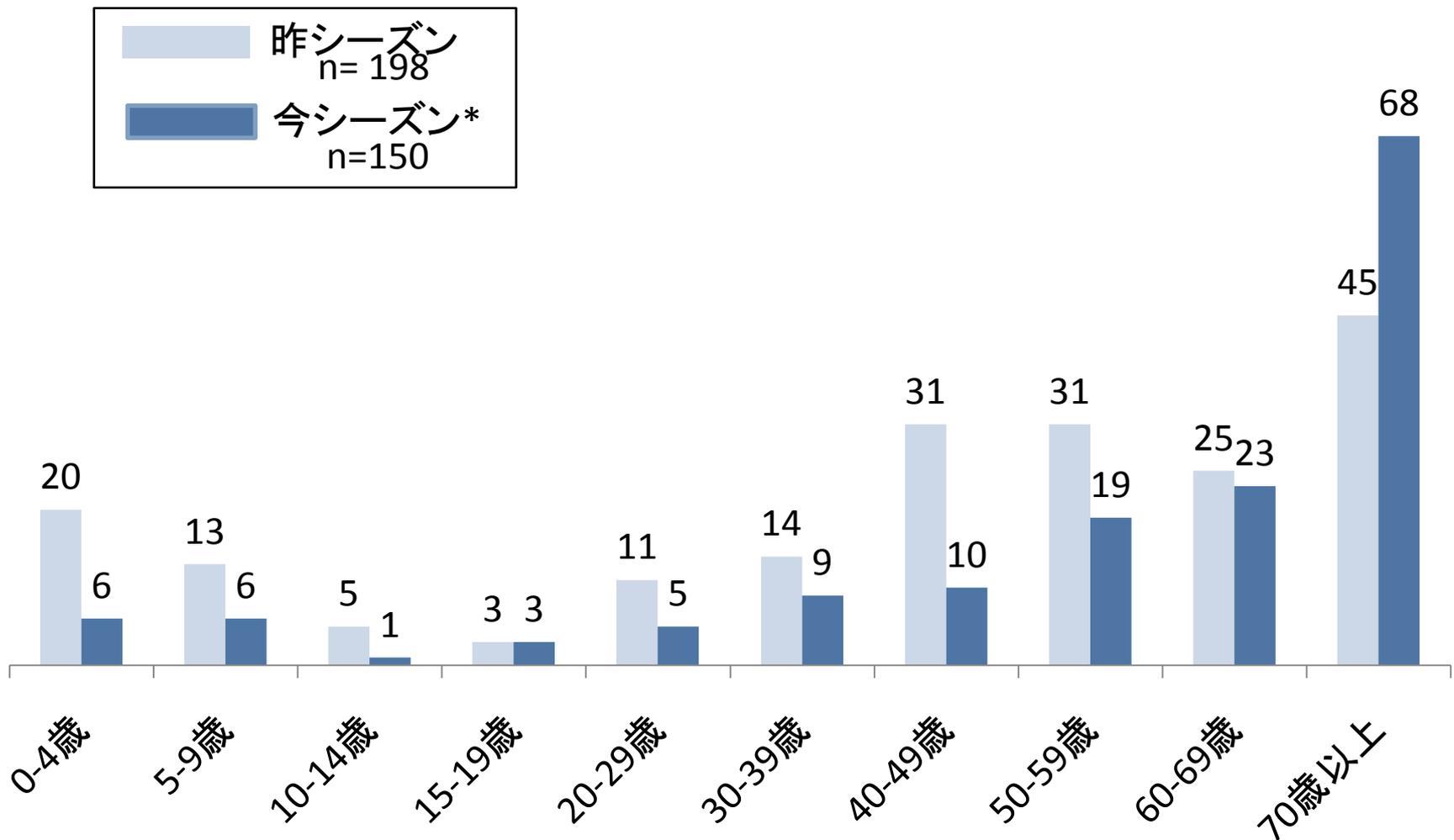
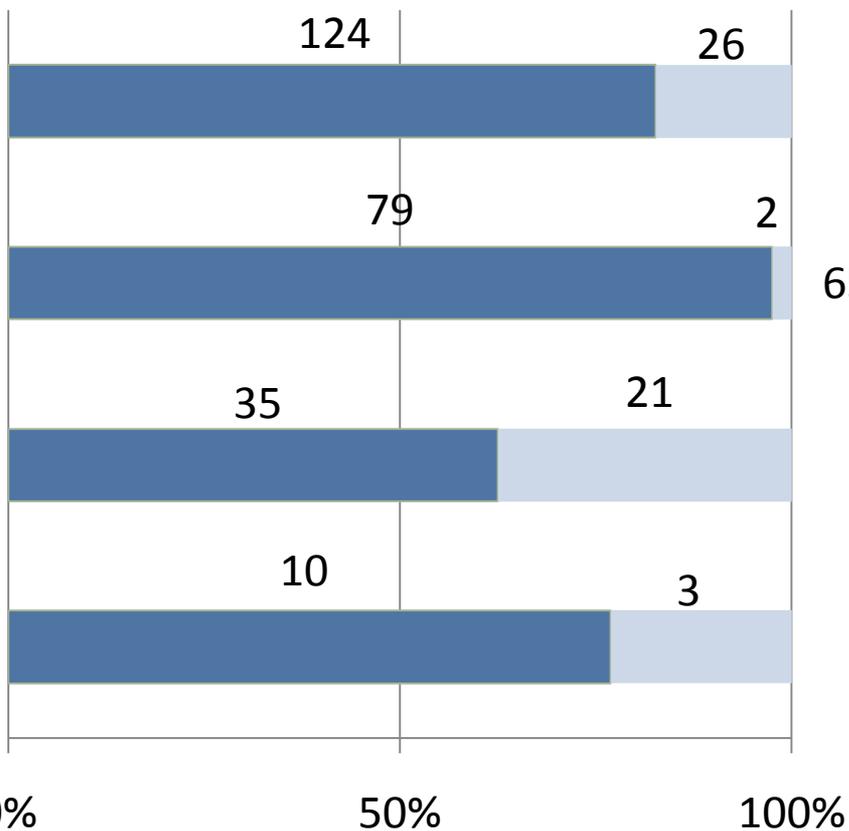


図17 年齢階級別に見た死亡者数

*-平成22年9月6日から平成23年1月30日の報告まで / 厚生労働省

今シーズン*



昨シーズン

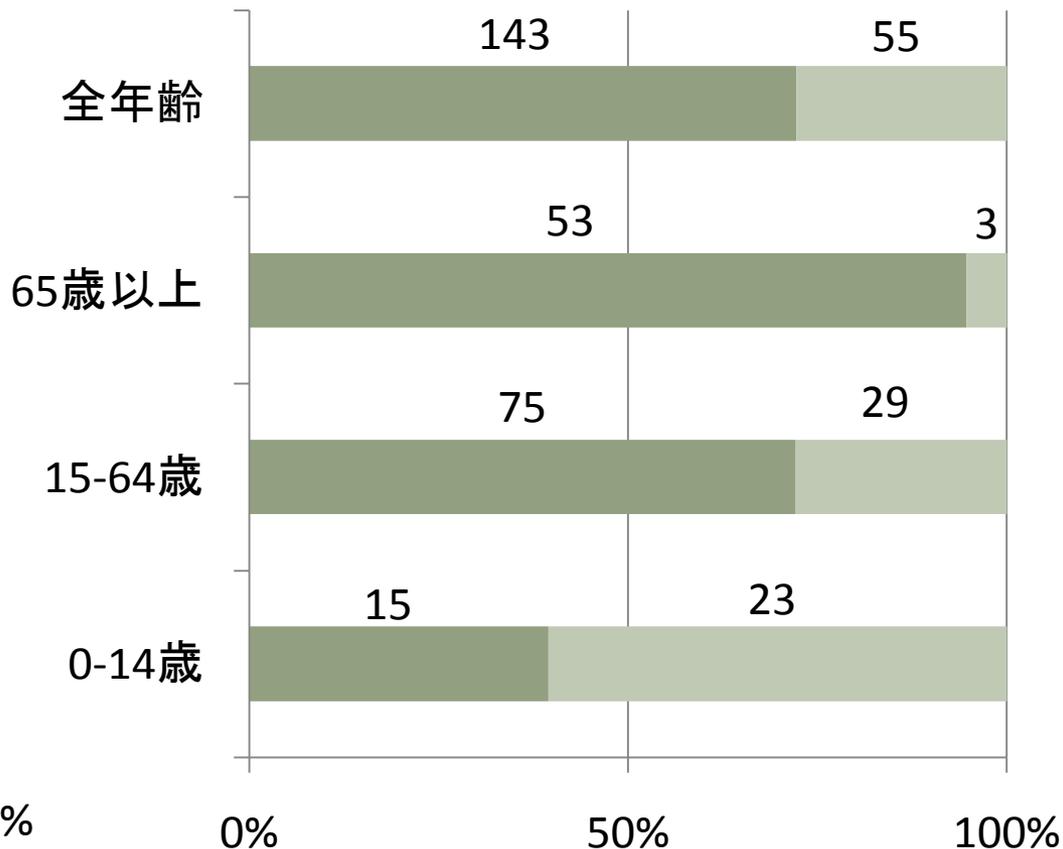
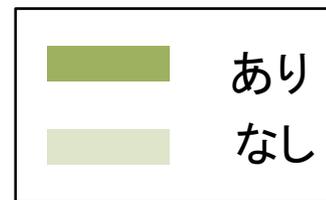


図18 年齢別の死亡例の基礎疾患を持つ割合

*-平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

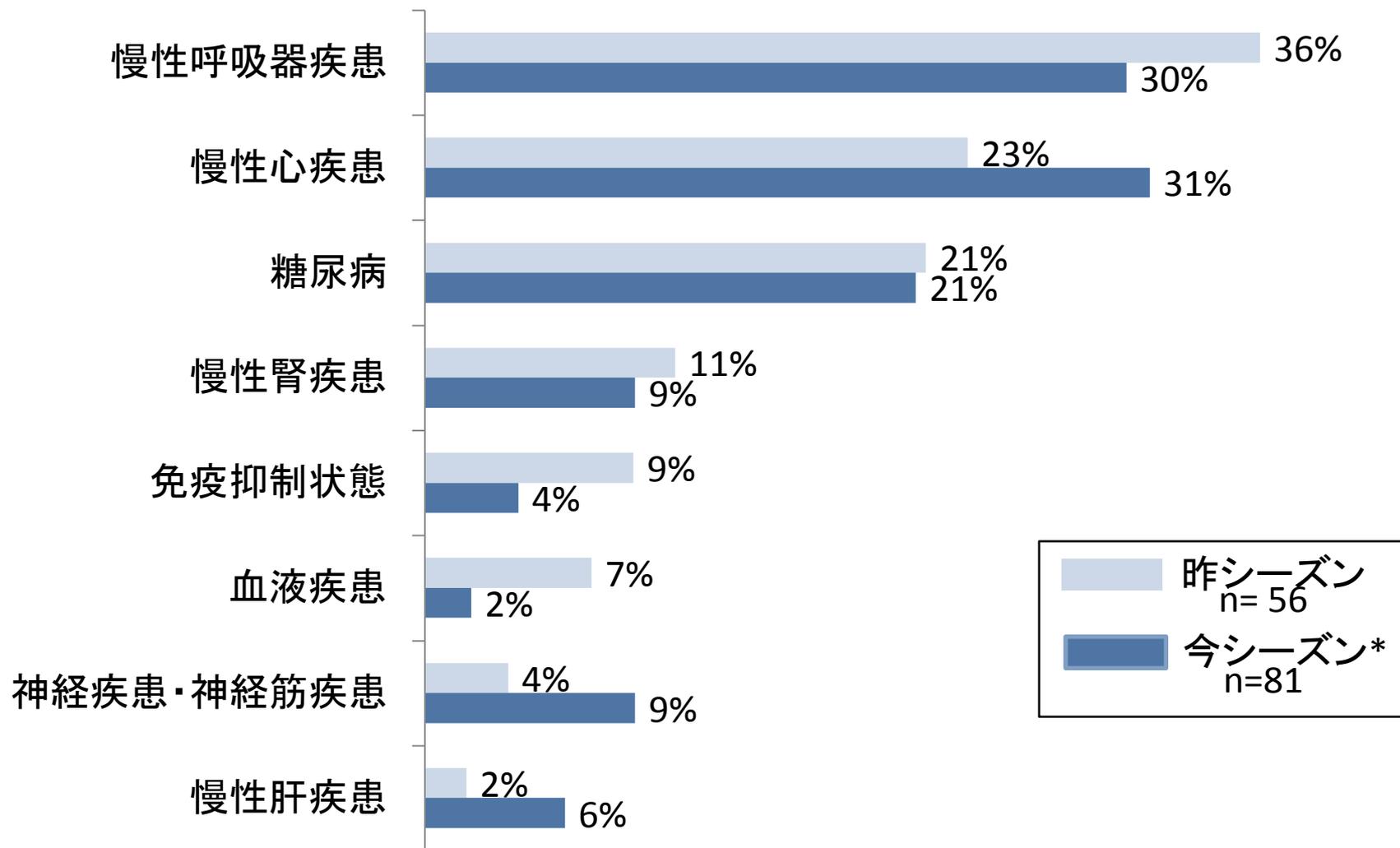


図19 65歳以上高齢者死亡例の基礎疾患(重複あり)

*平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省

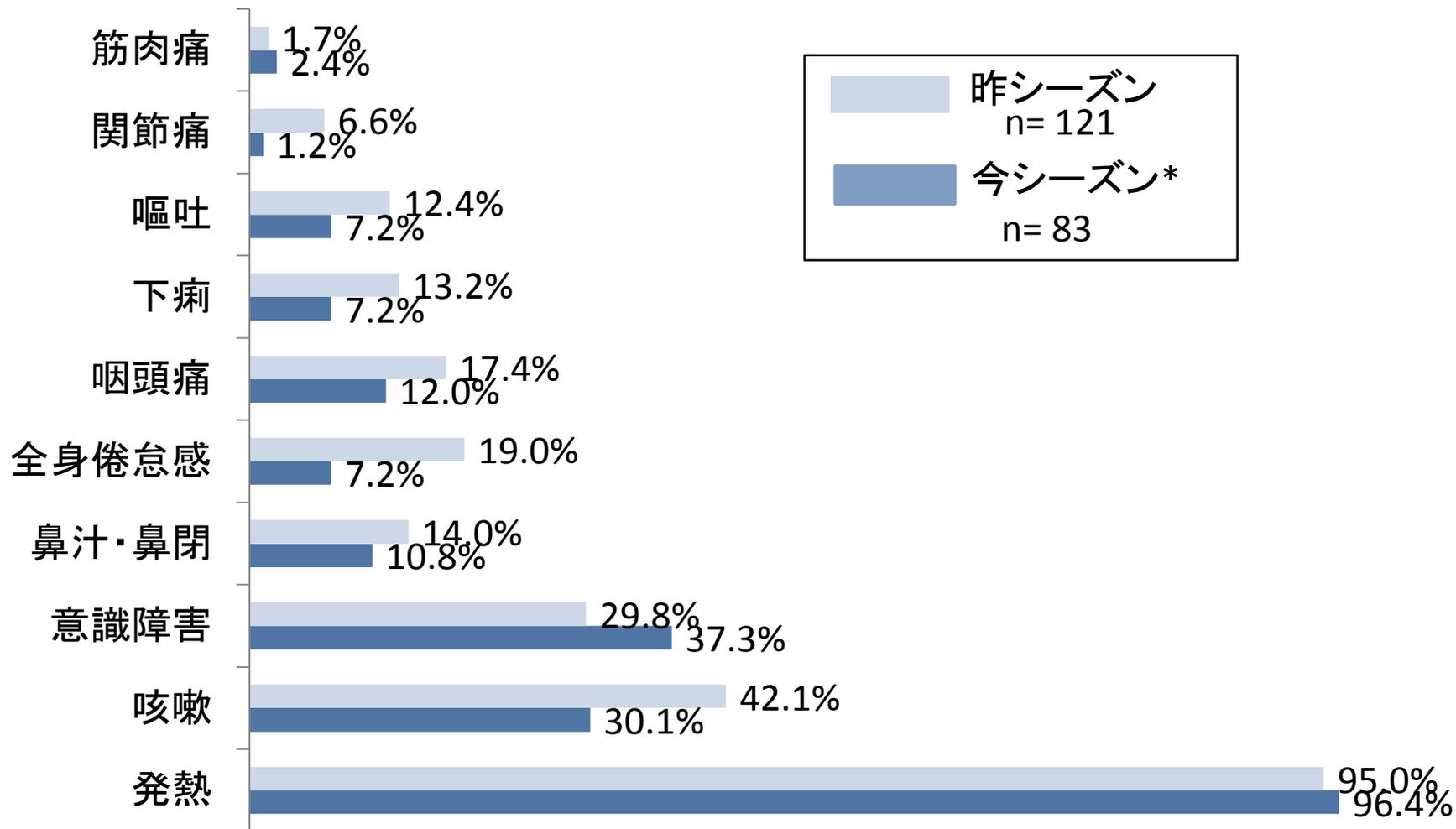


図20 症状の報告のあった重症患者にみられた症状
(重複あり)

*平成22年9月6日から平成23年3月13日の報告まで / 厚生労働省